



青井阿蘇神社 2022年1月10日
(2020年7月4日神社駐車場で車中泊)

躍動する兵庫、コロナを乗り越え未来へ

兵庫県知事 斎藤元彦



新年あけましておめでとうございます。
昨年も新型コロナが私たちの暮らしに大きな影響を及ぼしましたが、県民・事業者・医療関係者の皆さんご協力により、第5波を乗り越えることができました。

しかし、感染再拡大のリスクは続きます。マスク着用、手洗い、「密」の回避など基本的な感染対策の徹底を引き続きお願いします。県としても、保健所や医療提供体制の強化、3回目のワクチン接種の推進など、対策に万全を期します。

同時に、「ワクチン・検査パッケージ」等も活用しながら、飲食、旅行、イベントなど、社会経済活動との両立も図っていきます。

さらに、今年はポストコロナ時代を見据えた取組を本格的に検討・推進する年とします。

その1つは、時代の潮流であるデジタル化やグリーン化の加速。デジタル技術を、働き方、教育、医療・介護、地場産業や農業など様々な分野で取り入れるとともに、再生可能エネルギーの導入拡大や水素の利活用などの地球温暖化対策に力を入れます。

また、少子高齢・人口減少社会への対応や、頻発化・激甚化する自然災害への備え、交流と日常生活を支える道路ネットワークの整備など、すべての県民の皆様が安心して、育ち、働き、暮らし続けられる、だれも取り残さない兵庫づくりを進めます。

大きなボテンシャルを持つペイエリアの活性化にも本腰を入れます。2025年大阪・関西万博は、兵庫に人・モノ・投資を呼び込む大きなチャンスです。更なる発展の起爆剤とすべく、ペイエリアプロジェクトの起動、万博の来場者を県内各地へ誘うフィールドパビリオンの具体化など、新たなチャレンジをしていきます。

もとより、こうした取組は行政だけでできるものではありません。民間との連携をこれまで以上に広げていきます。また、私自身が県内各地で地域の皆さんと対話を重ね、地域の課題やニーズを新たな施策に繋げていく県民ボトムアップ型県政を推進します。

「躍動する兵庫」の実現に向け、飛躍の一年としていく決意です。
皆さんのご理解、ご支援をお願いします。

神戸国際支縁機構(KISO)季刊誌

【発行人】 岩村義雄 (携帯 070-5045-7127)
【事務局】 〒655-0049 神戸市垂水区御幸町5-1-101
Tel(078)782-9697 Fax(078)784-2939
E-mail:kiso@mbe.nifty.com
【石巻支所】 阿部とよ子
〒986-2121 宮城県石巻市渡波町3-5-37
【熊本支部】 大島健二郎
〒862-0939 熊本市東区長嶺南4-4-27
【千葉支部】 嶋田博信
〒294-0234 千葉県館山市布良303
年4回 2月、5月、8月、11月
購読料 一部320円+送料80円(年ぎめ 1,600円)

限界集落へ今日も行く

「ポストコロナ」の幕開けとなれ、手を合わせる。昨年は、東北での何をたいしたことはできていない。
10回目、球磨川ボランティアの田圃で初めての「復幸米」の世話をした。

大地と格闘すること10年、機械などの技術とは無縁の無農薬、有機の安全でおいしいコメづくりに仕えた。日本のみならず、世界の農業は19世紀後半より、効率、能率、迅速さを優先し、反収を追い求めるあまり生態を損なつてきた。

1月10日、雪が舞う中、熊本県球磨郡相良で田起の後、人吉市青井阿蘇神社で福川義文宮司にあいさつ。正月3日間は6万人の初詣でにぎわった。相良700年の歴史がある。「青いさん」と人吉市近辺の人たち

の心のよりどころである。「節分」は祝わないそうだ。「鬼は外、福は内」のように、排除する行事は神の教えにそぐわないとのこと。他の宗教も見習うべきだろう。

1月11日、災害大国の最も縮図と言うべき福岡県朝倉市杷木松末（2017年7月5日の豪雨死者40名不明2名）を訪問。5集落が廃村を国交省によって通達された。そのひとつ中村集落の樋口喜寿江さん（82歳）とお会いした。子どもの時は、小学校から下校したら、牛のえさをやつたことなど、日本のどこでも見られた農家の姿を聞いた。現在、世界がなくなつたため、お百姓さんに

とり樂になつた窒素肥料が登場。その結果、化学農薬・化学肥料・遺伝子組み換えが地球の生態を変えた。昆虫、鳥、動物にとり、危機の時代である。化石燃料を用いる大型の農業機械に依存し、環境に負荷を与えている。楽になつたはずが、大規模農業は費用がかかるため、後継者はいなくなつた。便利さは現代の鬼門であろう。

海外の孤児たちは待つていて。日本の里親からの教育費、手作りマスク支給、救援金は継続してきたが、2020年1月以降、訪問できていない中東、アフリカ、アジア各国へ道を開かれるようになつた。孤児の家が求められている。

ヤマザキ
世界のパン
ヤマザキ

Otsuka
株式会社大塚製薬工場
〒772-8601
徳島県鳴門市撫養町立岩字芥原115
TEL 088-685-1151 (代表)

MIYOSHI
ミヨシ石鹼株式会社
〒130-0021
東京都墨田区緑3-8-12
TEL 03-3634-1341

想いをかたちに 未来へつなぐ
TAKENAKA
竹中工務店
〒541-0053 大阪市中央区本町4-1-13
〒136-0075 東京都江東区新砂1-1-1

2021年11月7日、熊本県球磨郡相良

村で、園児たちと一緒に育ててきた「復興米」の脱穀に取り組んだ。なつめ保育園（緒

方眞喜代園長)の年長組は来年から相良南小学校に通う。幼い時に、親しんだ稻の裁

漁の衰退を変える糸口になればと地元の方

たちも協力してください。
日本一おいしいと言われる「ヒノヒカリ」

種の稻である。
天日干しをしたさおがけから外して、パ

チパチと大正時代の足踏み脱穀機の音、自分たちの力で、自然に溶け込む一日だった。

コンバインなどの機械に頼らない農法だから、保田ばかし（無農薬、有機による乳酸肥料）

菌こやし）を用いている。

これだけ災害が増えているのに、5年以上も莫大なお金をつけ込んでいる砂防ダム建設をするのはどうしてか。松末村（2017年7月5日の豪雨死者40名不明2名）の乙石川の上流に行く。戦場みたいに

乙石川流域の5集落は廃村。生き残りにそばづくり。機構も最初から協力している。樋口實&喜寿江夫人とは家族のように毎月お合いしている。

は き ま す エ

も3年、熊本市に移住し、パートタイムの仕事をしながら、傾聴ボランティアに取り組んだ。本格的な家族の縁が深まつたのは、2020年7月4日、市房ダムの放流によって、人吉市、支流である川辺川より上流の球磨川の地域、球磨村の被害地域の復旧は見通しがたたなくなつてからだ。

私たちは格差により、どんどん見捨てられて いる限界集落にいる。小さなはたらきであるけれど、コメづくりで喜んでいただ くボランティア道に仕えている。

見渡す限り、国交省の土木車両、コンクリート、工事従事者が働いている。現場はミヤンマーなどアジアからの低賃金の監督たちに委ねられている。

『熊本日日新聞』(2021年11月13日)

新 朋 人 民 2021年(令和3年)12月10日

『人吉新聞』(2020年11月12日付)、『』(12月10日付)

松末地域コミュニティ協議会のそば作り
2021年12月6日

31年ぶり、
ゼロから翻訳した新しい聖書
『聖書 聖書協会共同訳』
-2018年12月発行-

全国書店にて
好評発売中です
www.bible.or.jp
日本聖書協会



人によし、社会によし、未来によし。
 **ミヨシ油脂株式会社**
〒124-8510 東京都葛飾区堀切4-66-1
<http://www.miyoshi-yushi.co.jp>



神戸から毎年、被災地の東北朝鮮初中級学校、福祉施設、独居の方の戸別訪問を続けられるのも、玉の肌石鹼株式会社三木晴雄会長の寛大な寄付のおかげである。株式会社チュチュアンナ上田崇敦社長の靴下も喜ばれている。

ウリハッキョでは返礼にソングを歌つてくださった。言葉の意味はわからなくても神戸からの6人は感動した。岩村義雄理事長のあいさつは雪景色の寒さに震える16名の生徒たちの心にほのぼのとした灯りをともしたようである。年齢、性別、空気の違いを吹き飛ばした。

石巻市渡波ではお一人暮らしの女性たちにクリスマスケーキをもつて訪問。佐藤金一郎ご夫妻が案内してくださった丹野節子さん（89歳）は子どもも家族もおられない。天涯孤独である。



春から、長浜幼稚園の年長組60名は、5つの農行程に取り組んできた。①トロトロ層づくり、②田植え、③稲刈り、④天日干し、⑤脱穀である。苗だった稻が、白いコメになっている。無農薬、有機だから、藁（わら）も希望なさる農家がある。みんなが使った足踏み脱穀機は、九州の球磨川ボランティアに持つて行き、熊本県の相良でも住民は「はじめて見たとです」と注目した。九州でも園児たちによる脱穀が珍しく、三紙の記者たちも駆けつけた。

2020年7月4日我々が暮している熊本県球磨地方は線状降水帯にすっぽりと覆われて数日降り続いた豪雨により、未曾有の洪水被害が起りました。その洪水は、球磨川支流の同時多発的な氾濫で65名の死者を出し、洪水・土砂災害の爪あとを大きく残して、復興は漸く絶についたばかりです。未曾有の洪水に見舞われた地域住民にとって、コロナ禍の中にも関わらず全国から駆けつけたボランティアによるご支援は大変に難く、心が慰められるものでした。その支援のグループの一つに神戸国際支援機構のスタッフを率いて、岩村理事長が駆けつけて下さいました。災害で愛する人を失い、家屋や財産を破壊された被災者にとって、ボランティアの方々の一声がどれほど慰めや励ましとなり、心の支えとなつたことでしょう。

その後度々来訪される岩村理事長から原稿を書くよう求められました。筆が進みませんが、代々川辺川の上流五家荘に隠れ住んで生命をつないで来た先祖を紹介しましょう。

先祖は五家荘に隠棲していた平家の落人であったと聞いています。祖父・緒方俊造はお盆や正月に徒步で先祖の故郷・五家荘（現在の八代市泉町）の緒方荘に挨拶に行つっていました。今

の国道445号は細く険しい道で、途中の五木や四浦村で泊、休憩しながらの旅であります。次回より五家荘の伝説について紹介します。



2020年9月7日 相良教育委員会で岩村理事長と初対面。

略歴 194年熊本県球磨郡相良村生。1949年九州大学医学部医学科卒業。同年6月医師免許。九大医学部付属病院で研修。熊本大学原田正純師から水俣病と出会う。1971年緒方医院を継承、相良村医、学校医。1979年大腸四頭筋短縮症が社会問題となり、自主検診班に参加。1988年社会法人ペール会、特別養護老人ホーム川辺園開園。1998～2012年球磨郡医師会長。2002～2012年熊本県医師会理事。2002年「清流くまがわ・川辺川を未来にへ渡す流域市民の会」会長、共同代表。2019年「日本医師会赤ひげ大賞」受賞。2020年緒方医院名誉院長。



代表取締役 三木 晴雄

〒130-0021 東京都墨田区練 3-8-12
tel 03 3634 1345 fax 03 3635 4124
URL: www.tamanohada.co.jp



SERVING MANKIND
Humanity First
「ヒューマニティ・ファースト」

日本アハマディア・ムスリム協会

弁護士法人
芦屋西宮市民法律事務所



津久井 進

日弁連災害復興支援委員会委員長
兵庫県弁護士会会長

TEL: 0798-68-3161

ミヨシ共栄株式会社

東京都墨田区練 3 丁目8番12号



事務局便り

「田・山・湾の復活」 その十八



今年の干支は寅である。「寅」は動物のトラ（「虎」tiger）ではない⁵⁹。2021年12月19日発行の科学誌『コミュニケーションズ・バイオロジー』に掲載された。中国・南方科学大学などの研究者の論考がある。ダム建設による被害を論及している⁶⁰。2018年9月6日、わたしは中東のシリアに孤児の家を建設する帰途、レバノンのペイルートで、北海道の厚真地震のニュースを知った。帰国の日曜日、すぐに新千歳空港へ向かった。損壊した「萱野茂二風谷アイヌ資料館」を訪問。萱野志郎館長ご夫妻から二風谷ダム建設に関する説明を聞いた。裁判で、「土地収用裁決は違法」となったにもかかわらず、1997年にダムは税金700億円以上をかけて完成した⁶¹。二風谷ダムは、アイヌの主要な食物であるサクラマスを切断した。沙流川を遡上し、産卵する水生生物の生態系を人間の経済発展のために犠牲にした。ダムが建設されれば、サケ、マス、アユなどの生命だけではない。トラなど陸生生物、鳥、昆虫なども絶滅するだろう。ダムは川の仕組みと自然界の循環「すべての川は海に注ぐが海は満ちることがない。どの川も行くべき所へ向かい 絶えることなく流れゆく」という生態系の営みを暴力的に破壊している（コヘレト1:7『聖書協会共同訳』）。

激甚の厚真地区もさながら中東の空爆跡のようだった。北海道胆振東部地震厚真川地区〔厚真町・安平町・むかわ町〕の被害は厚真ダムが震源地だと認めないのはどうしてだろうか⁶²。

(社)神戸国際支縁機構

•ボランティアや移住者募集中
農林漁、および在宅被災者戸別訪問にご協力ください。医療関係者歓迎します。

•被災地への支縁物資もお願いします。
•年会費をお願いします。(月に200円)
会員(年度4月~翌3月)の皆さまには、季刊誌などをお送りします。

•海外の孤児のために支縁金をお願いします。

趣旨に賛同してくださる方は、何口でも結構ですので、ご協力をお願いします。
本会員は、一口2,400円/1年
賛助会員は、一口5,000円/1年

•郵便振替 口座 00900-8-58077
加入者名 一般社団法人 神戸国際支縁機構

•三菱UFJ銀行 462(三宮支店) 普通 3169863
神戸国際支縁機構 岩村義雄

海外の災害緊急募金には必ず『国名』を書き添えてください。

本田哲郎セミナー
毎月第3金曜日午前10時～
勤労会館4階

岩村義雄セミナー
毎月最終月曜日午後6時半～
ミント神戸17階

編集後記

第42次東北ボランティア、2014年には丹波水害、街頭募金などの働きを経て、海外にまで活動の範囲が拡がりました。神戸国際支縁機構がネパールに孤児の家を造りに行く際、村田義人さんと同行しました。喧騒な中、活気あふるるカトマンズなどの人々のたくましさ、険しい山並み、もてなされる料理の多さに圧倒されました。第1次ベトナム・水害ボランティアでは、村、家屋、道路などが水没しており、どうすべきかわからずただただ歩いた印象が強烈です。今は、その時、出会った孤児たちが「カヨ子基金」で支縁されているのは感無量です。社会に出てから岩村義雄理事長の行動の深さ、本質に気づく日々です。1月15日、4年ぶりの再会は自身の原点に帰った感覚、人々の無関心の壁をどう打ち破るか挑戦するように促されました。共生させていただきます。

海外部門 植地亮太 (26才)

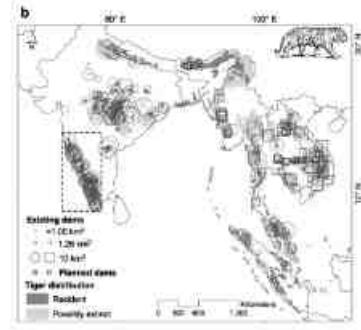


59 「日本語の大疑問」(国立国語研究所編 幻冬舎新書 2021年 158-160頁)。中国の史書『漢書』は、中国の王朝前漢〔ぜんかん紀元前206-西暦8〕の記録。漢書で、「寅」=「頃」(中国語 yín いん「[動く]の意」)。

60 研究結果は、トラの生息地にあるダムの影響で、トラの推定生息数の5頭に1頭に相当する729頭がいなくなっている。絶滅寸前である。調査によると、41箇所もの新ダム建設がトラの生息域を奪っている。

61 抽論「技術至上主義は自然災害をもたらす—第1次北海道地震ボランティア—」(2018年9月9-12日)。「私はこのダムが出来れば、沙流川〔アイヌ語サラ〔霞原〕〕に由来〕にサケをよみがえらせたいとの永遠の願い完全に閉ざされると思っています。二風谷にはサケは一匹も上がってこなくなるでしょう。……日本の政府は、なんべんアイヌから土地を取り上げればよいのかと」、父萱野茂〔1926-2006〕氏は訴えていた。

62 描論「第2次北海道地震ボランティア」(2018年11月4日-10日)。「厚真町の長さ1キロ×500メートルの深層崩壊は吉野地区、桜丘地区だけではありません。県道235号線は厚真川沿いにあり、週ると厚真ダムがあります。そこは現在厳重な立ち入り禁止です。……9月6日にダムの放流、決壊の有無、増水について確認しようがありません。手前に厚真ダムが建設中です。治水ダムの目的は日本最大の工業地帯苦小牧東地区への工業用水供給が最大の理由です」。『キリスト新聞』(2018年10月1日付) <http://www.kirishin.com/2018/10/01/18948/>



トラの生息域を奪うダム Communications Biology Impacts of hydropower on the habitat of jaguars and tigers 2021年12月9日号。

前号訂正 「田・山・湾の復活」その十七
8行目 半減期といつて⁵⁵⁾ シウム ⇒ 半減期といつて⁵⁵⁾ セシウム
15行目 しかし、2001年3月1日 ⇒ しかし、2011年3月1日

救援金、維持会費ご協力を感謝します。

(敬称略)

2021年10月17日～2022年1月15日

岩村義雄、神戸国際キリスト教会、佐々木美和(3)、ヨーガ教室ワン(2)、福地弥寿子、村田義人、ブイ・ティ・オアン(神戸ベトナム人会会長)、石川久子、河村ひとみ、木村ふみ子(石巻市)、日本基督教団神戸栄光教会、保田薰、岡部徹、吉田隆、大槻良文、嶋田博信&礼子(千葉県布良)(3)、石井泰代、池永タケコ、橋本成年、沖浦宏隆(千葉県布良)(3)、有田真一&美榮子(2)、橋浩二、仲誠一、祐照寺(古川真照住職)、萩本義郎(県立いえしま自然体験センター)、金恒勝、坂牧弓絃、高木保、鳥飼とも子、宮氏道夫、守屋香代子、なつめ保育園、緒方真喜代(熊本県相良村)、櫻井由里子(2)、柳澤豊、神戸聖福教会、李敬淑、合同会社Bless泉眞姫、渡辺徹、森祐理、千葉幸一(宮城県石巻市)(2)、藤原りつ子、永野由美子、岡田小百合、苅部真砂子(4)、藤田祥子、宮坂信章(2)、東原良学(3)、廣森勝久&孝子、村田優美子、福地弥寿子、本田寿久、土手ゆき子&朋、中道澄春(3)、原浩司、野崎和子、青木、塩川成子(千葉県館山市)、高島邦生、村上安世、八尾和樹、泉晴代(2)、梅木博光(金光教多良木教会)、内貴千代子、野田由紀夫、廣瀬素子(2)、千綿盛彦(佐賀県大町町)、「小さくされた人々」講座(2)、鈴木敏夫、ルア教会(沖縄バプテスト連盟)、西上千栄子(2)、伊藤千恵(福岡県松木)、太田妙子、竹内喜子、辻本久夫、吉俣正光、高祐二、勝村弘也、藤原光代、三宅幸子、豊島睦子、池田久美子、宝塚栄光教会、岩間洋&千恵子、相浦恵子、熊野千秋、森川八郎、今村佳代子(佐賀県大町町)、関西学院大学、徳留由美、秋田喜代子、鄭恵姫、愛編クラブ(坂上順子、中井和代、渋谷智恵美)、阿部艶子、上村由紀穂(熊本県人吉市)、矢野寛子、山本美和子、白方誠彌(2)、明石バプテスト・キリスト教会、小島千鶴、沖葉穂子、弓矢健児、加藤賢宗(石巻市淨音寺)、垂水朝禱会、山下寛&弘美、大谷洋子、宍戸義光(宮城県石巻市)、谷本幸枝、新免賀、大鶴勝、釧路キリスト福音館、山形浩之、太田登志(3)、近藤春樹、本田すみ代、阿部和夫&齊子(宮城県石巻市)、勝田文雄、岡野彩子、河内常男、主イエス恵愛教会、高橋務、湯川紘未、中山圭子、さかいようこ、(株)ハミングジョー、糸島聖書集会(2)、白瀬悦子、土手暁、宮本博美、在日大韓基督教会神戸教会、森田美芽、春原和子、小笠原貞夫、福田雄二(球磨郡相良)、村上安世、藤野知香、山田通裕、神部隆三、金貴順、日本キリスト教団久宝教会、後藤仁美、村上裕隆、木村公一、野上勇次、山野英雄(宮城県大崎市)、匿名 850,700円

支縁物資の提供者 敬称略

コープこうべ、フードバンク関西、「耕支縁」、正野弘子、鳥越肖男(熊本県人吉)から入浴券、福田雄二(熊本県相良)から土壺、丸目寧(熊本県相良)から農具、東垂水ルーテル教会から箸。三宅幸子から切手(1万398円)。五百井正浩(玉龍寺)から米など。梶原ミドリ(福岡県松木)から大根、樋口喜寿江(福岡県松木)から茶、松木地域コミュニティ協議会から弁当、梶原将継(福岡県寒水)から柿など。竹内喜子から切手2,600円分、村田充八から出石そば、矢野寛子からしおり。藤丸秀淨(法専寺住職)からコメ。横山豊宥(無障金剛院)から米。玉の肌石鹼(株)からクリスマスケーキ、(株)チュチュアンナから靴下。梶原ミスミ(福岡県松木)からしいたけ。